



〒769-0102
高松市国分寺町国分156-2
代表TEL/087-874-1313
FAX/087-874-1319

http://www.asahidan.co.jp/

●設立 1959年2月
●社長 白井 大介
●資本金 3億2,400万円
●社員数 110名
●基本給 大卒(総合職、技術職)200,000円
大卒(一般職、一般事務職)
短大・専門・高専卒170,000円

●休日休暇 週休2日制(土・日・祝日)、年末年始
年間休日112日、有休10~20日
●福利厚生 各種社会保険完備、育児休業あり、
通勤手当・家族手当・住宅手当・
時間外手当・食事手当など

▶インターンシップの受入れ/なし
▶大学生アルバイトの受入れ/なし
▶採用担当者連絡先/
住所/〒769-0102
高松市国分寺町国分156-2
採用担当者連絡先/087-874-1313
担当/山地

株式会社朝日段ボール

各種段ボール・段ボール箱・包装資材全般の製造・販売



Executive / 白井 大介

すべてを最適化へ——

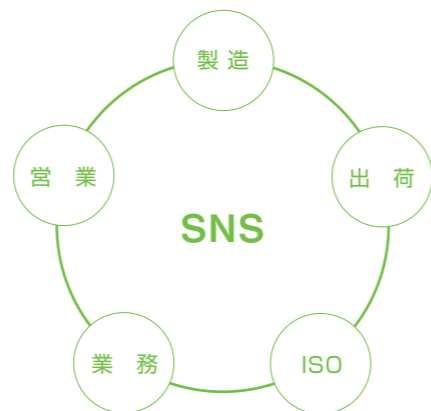
多様化するニーズに、いかにスピーディに応えるか。そのために朝日段ボールでは、独自システムである

オーダーエントリーシステムを構築

お客様から受注を受けると同時に、製造から出荷までの指示が流れ、その情報は、どの部署からもリアルタイムで確認ができるため、それぞれの部署での効率アップや品質管理、コスト管理などを実現するだけでなく、スピード感を持った供給が可能に。

SNSを利用した情報伝達

ネットワークシステム(タブレット)を活用した営業スタイルで、オンタイムの情報を提供するとともに、社外からもお客様の要望をすぐに反映させることが出来ます。



医薬品用段ボール

品質管理が重要な、医薬品・医療器具などの梱包に使われます。



冷凍食品用段ボール

保冷状態の維持・管理を必要とする、冷凍食品の梱包に使われます。



生鮮食品用段ボール

鮮度保持が必要な、野菜・フルーツ・生花などの梱包に使われます。



工業製品用段ボール

建材・資材などの重みに耐える強度を持ち、精密機械・紙製品などの梱包に使われます。



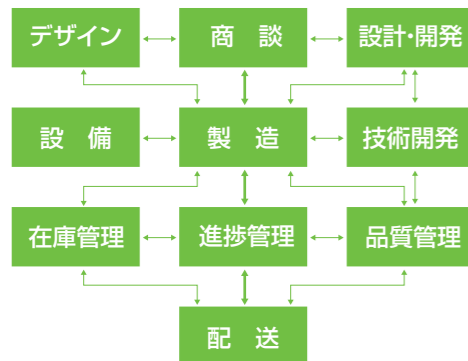
飲料・食品用段ボール

商品ロゴなどを印刷し、広告的要素を加味される機会が多い段ボールです。飲料・食品などのメーカー製品の梱包に使われます。



衛生用品用段ボール

ティッシュトイレットペーパーなど、容量が大きくデリケートな紙製品・日用品などの梱包に使われます。



15



人の思いを総合力と創造力でつなぎ、新たな物流価値をプロデュース

美しい脈(なが)れを大切に 人優先の企業づくり

長 年培ってきたノウハウと実績に先端の新たな技術を駆使し、開発から物流まで段ボールに関わるさまざまな課題をトータルに解決する「朝日段ボール」。段ボール製造の受注件数においては国内でもトップレベルを誇り、スピード感を持った対応が高く評価。お客様のニーズはもちろん、次世代の地球環境や地域の発展につながる人の思いに、社員一人一人が取り組んでいます。

同社では、社員の真の幸せの追求、お客様の満足と利益の創出、地域社会への貢献が経営の3本柱。これは、社員の幸せがあつてこそ良い製品がつくられ、その結果、お客様に喜んでいただけるという「人優先の企業づくり」思想に基づいています。

「私たちはこの思想を、美しい脈れ」として大切にし、創業以来脈々と流れる思いやりの一生懸命精神で豊かな生活文化に貢献する物流価値の創造を目指しています」と代表取締役の白井大介さん。

地域貢献の一環としては、災害時における防災協定を2019年に高松市と締結。この協定は大規模災害が発生した時市からの要請を受け、市が指定した場所にベッドを届けるだけではなく、スタッフを派遣し組み立て方の指導までするもので、防災訓練時には簡易ベッド体験を実施するなど社会貢献への幅も広がりを見せています。

現場での製造体験を通し 提案力と企画力を養う

同 社では、入社後はまず全員が製造部に配属され、段ボールづくりの現場を体験することからスタート。約半年間の実践で、モノづくりというものを、段ボールというものを肌で感じ、学び取ります。

その後は、引き続き製造を極めてゆくもの、事務所の各部門で注文の入り方や段ボール製造の図面の作り方など、受注から製造、納品までの一連の流れを習得し、効率よく製造するための計画やニーズをカタチにするデザイン力を高めるものに別れます。この段階を踏んだ教育システムこそが同社の強みでもあり、お客様から信頼を集める要因ともなっています。

現在活躍する社員からは「全体を知ることでお客様への提案力が養われた」「製造効率を高める企画力がアップした」という声が多いのも事実。またお客様からの要望に「できません」という答えの選択肢はなく、現場の創意工夫と団結力で社を挙げて「どうにかしてカタチにしよう」というチャレンジ精神と活気にあふれています。

「はじめから段ボールづくりがしたくて入社する人は少ないでしょう。しかし、段ボールは縁の下力持ちのごとく物流を支えていると知った時、やりがい、誇りをもっていただけるかと確信しております。納めるもの一つ一つに合った強度やサイズを見合う100%受注生産のオーダーメイド品をご提供するには、もの



づくりの知識を得ていなければ本当に求められるものが提供できません。現場での経験を通して当社の価値や仕事のやりがいを見出し、互いに仲間意識を持ちながら各部署で本領を発揮してほしい」と白井社長は期待をこめて話します。

経 営理念にある幸せや成長は心身ともに健康であること。2017年に「健康経営」を宣言して意識的な健康生活を促す取り組みも翌年には香川県、全国健康保険協会香川支部から「健康経営取組事業所」として認定を受け、昨年は経済産業省と日本健康会議が主催する健康経営優良法人認定制度にて「健康経営優良法人2020(中小規模法人部門)」にも認定されました。

また野球部やテニス部、陸上部などの運動部の他、釣り、模型部など、同じ趣味を持つ社員が集まって楽しむための部活動も盛んで、部署の垣根を超えた風通しの良い環境も魅力の一つ。「働きやすい環境であること。これもまた理念の人優先に通ずるところでしょう。社員には元気に出勤し、笑顔で帰宅してほしい。これを基本としていけば、仕事の価値は必ずや分かってもらえると信じています」と白井社長。同社では思いやりがあり人間味あふれる人材、プラスやる気のある人材を求めています。

社員インタビュー

実際に働いている社員さんに働く楽しさややりがいについてお聞きしました。



営業部



営業部営業1課 課長 三宅 貴之さん (2000年入社)

ユーザー様に認めてもらえたことが長い経験上一番の宝。他営業マンにもぜひ、ユーザー様から好かれる存在に、そして期待以上の提案ができる人材へと成長してほしい

営業部に所属して19年。現在は担当ユーザー様へ営業に加え、他営業マンのサポートを含む全般を管理しています。長く続けてこられたのは、ニーズに対して期待以上の提案を！との心掛けと当社の製品を、高く評価してくれるお客様があつてのこと。例えば高い買い物をする時、最終的な決め手となるのは「人」ではないでしょうか。当社の営業は地域密着のルートセールスが主軸なので、数十年にわたつてお付き合いしているユーザー様が大半。担当者が変わつても対応に不備があつてはいけません。まず大切なのは、素直で親しみやすい人柄であること。お客様の声に心から耳を傾け、真摯に向き合えること。これらを胸に、積極的な提案ができる営業マンに成長してほしいですね。私も全力でサポートします！



営業部営業1課 山下 敦也さん (2019年入社)

営業部営業1課 山下 敦也さん (2019年入社)

入社後まず、製造や事業部でモノづくりを学ぶ教育体制のお陰で、その後の営業活動がスムーズに。今は日々精進あるのみ！

段ボールは実用品として日常に欠かせない物で、間接的ではありますが地域貢献にもつながるところ、加えて会社説明会で感じた社内の雰囲気の良い魅力も魅力的で入社を決めました。まずは製造や業務部で段ボールの基礎を含めたモノづくりの基本や受注から納品までの流れをじっくり勉強。営業に配属となつてまだ1年経ちませんが、その時に培つた経験と知識が商談で活かされていると実感しています。ご依頼案件をより満足度の高いものとして提案できたと、そしてお客様からいただく感謝の言葉がやりがいにもつながっています。まだまだ未熟ですが、お客様が抱く潜在的な必要などもしっかり引き出した上で、さらに満足を感じただけの営業マンになれるよう精進していきたいと思っています。

製造部



製造部 課長代理 白川 広行さん (1997年入社)

コミュニケーション力を発揮するチームプレイで、一点一点思いをこめてゼロからモノづくり。市場に流れる喜びもひとしお

製造部とはその名の通り商品を生産する部署で、貼り合わせたシートが印刷、型抜きなど加工工程ごとにラインに枝分かれして流れます。業務部が立てた予定をクリアすることが日々の目標。一見厳しそうですが、これがあるからこそ力が発揮でき、仕事の喜びやモチベーションにつながっている人が多いように思えます。技術の進歩によりオペレーターの負担が軽減されつつある中、一番肝心なのはチームプレイができるコミュニケーション。不満や悩みもため込まず何でも打ち明けられる社風なので、意識してこの力を磨いてほしいですね。技術は必ず自然に身に付きます。ゼロからモノが出来上がり、自分が手掛けたモノが市場に流れる喜びを感じたい人、ぜひ一緒にがんばりましょう。



製造部 係長 森 将人さん (2006年入社)

新しいことにも積極的に挑戦できる社風。会社の成長と共に自分も成長できる、楽しみと希望に満ちあふれる理想の職場環境

製造部の中でも私は設備担当。機械の保守・メンテナンスやオペレーターの技術指導、新設備の導入に関する業務が中心です。最新の機械を多く保有する当社は、機械好きにとっては触りたい放題の楽しい環境。ニーズの多様化に伴って新しいものが導入されるたび、技術の習得やレベルアップも図れます。当社オリジナルの設備も多く、オペレーターとの話し合いの中からアイデアを出して「こんな機械がほしい」といった要望をメーカーにオーダーし、世の中で唯一無二の機械を作ること可能。望んだものがカタチとなつて導入される時にはワクワクが止まりません。今年もまた新たな大型ラインが導入予定。次々と進化する環境の中で、自分へのチャレンジ、未来へのチャレンジをしてみませんか。

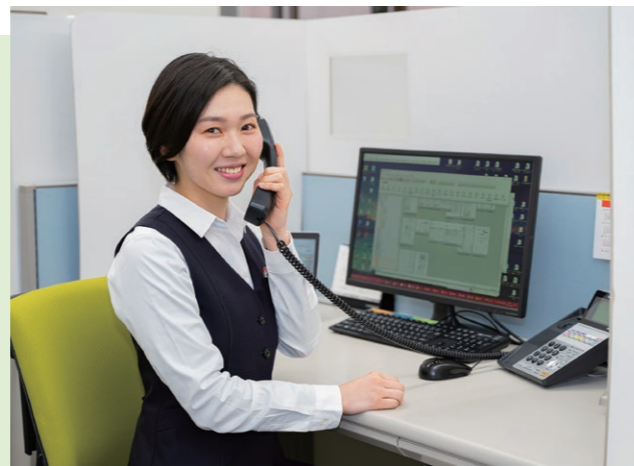
業務部



業務部業務課 主任 福井 和樹さん (2011年入社)

製造の流れを作る計画次第で生産性や品質も左右する重要な仕事。現状に満足することなく、さらなる高みを指したい

地元愛が強く環境にも興味があつたため、環境に優しいモノづくりを手掛ける当社に入社を決めました。現在所属する業務部は受注から出荷までの一連の流れを一貫管理する部署で、私が担当するのは生産計画を立てる企画係です。当社のモットーである「小ロット・多品種・短納期」を遂行するため、製造の流れをいかに平準化させるかが腕の見せどころ。加えて生産性や品質を維持した上で材料のロスを軽減させるかなど責任ある業務ですが、結果がついてきたときの喜びは非常に大きいですね。何よりも知識と経験を積むことが肝心。私も10年目にしてようやく自信が持てるようになりまして。さらなる目標は、生産計画づくりを誰もがができるよう簡素化した上で、もっと精度を上げて作業効率をアップさせることです！



業務部業務課 主任 三木 美恵さん (2013年入社)

顔が見えない分、お客様への電話対応には細心の気配りを。働きやすい環境整備や人材育成にも積極的に関わっていききたい

得意先担当としてお客様からの受注処理をするのがメイン業務です。新規はもちろんお得意様も当部署に電話してくることが多いため、声のトーンや言葉使いには細心の注意を払っています。当然ながらニーズを的確に把握することも重要。たとえ他の担当者のお客様であったとしても責任を持って対応できるよう、事前情報をあらかじめ吸収しておく極力1回の電話で完結できるように心がけています。事務所には同年代の女性が多く、明るく和気あいあいとした雰囲気です。プライベートでも仲良くしています。先輩の中には産休・育休・時短勤務を経て復帰した人も。また前例が少ないのですが、今後は職場復帰を含め女性が多く安心して働ける環境づくりや人材育成にも携わっていききたいですね。



▲東京・横浜に社員旅行で行った際の集合写真。



▲決起会での様子。



▲「社員食堂」があり340円で昼食が食べられる。